



Informatica® Cloud Application Integration
Summer 2018

チュートリアル: Hello
World

Informatica Cloud Application Integration チュートリアル: Hello World
Summer 2018
2018 年 10 月

© 著作権 Informatica LLC 1993, 2019

発行日: 2019-02-11

目次

序文	4
第 1 章 : 概要	5
作業を開始する前に.....	5
資産アセットと概念.....	5
チュートリアルオブジェクト.....	6
第 2 章 : プロセス 1: 「Hello World」と出力する	7
ステップ 1: プロセスを作成する.....	7
ステップ 2: 基本プロセスプロパティを設定する.....	8
ステップ 3: 出力を設定する.....	8
ステップ 4: プロセスを保存してパブリッシュする.....	9
ステップ 5: プロセスを呼び出す.....	10
ステップ 6: アプリケーション統合コンソールで、呼び出されたプロセスを表示する.....	11
第 3 章 : プロセス 2: 入力メッセージの出力	12
ステップ 1: プロセスを作成する.....	12
ステップ 2: 基本プロセスプロパティを設定する.....	13
ステップ 3: 出力を設定する.....	13
ステップ 4: プロセスを保存してパブリッシュする.....	14
ステップ 5: プロセスを呼び出す.....	15
ステップ 6: アプリケーション統合コンソールで、呼び出されたプロセスを表示する.....	16

序文

このモジュールは、単純なプロセスの作成に関するチュートリアルです。

第 1 章

概要

「Hello World」チュートリアルでは、基本的なアプリケーションの統合機能を使用して、次のプロセスを作成します。

- 「Hello World.」という出力を返すプロセス。
- テキスト入力として入力した内容に基づいて出力を返すプロセス。

作業を開始する前に

設定を開始する前に、次のタスクを実行します。

1. Informatica Intelligent Cloud Services アカウントを作成し、アプリケーションの統合およびアプリケーション統合コンソールサービスにアクセスできることを確認します。アカウントの作成方法の詳細については、[Training Program Overview](#) コミュニティの記事の「登録」セクションを参照してください。
2. アプリケーションの統合にログインして、**[エクスプローラ]** ページに移動して、**[エクスプローラ]** リストで **[プロジェクト]** を選択します。
3. **[チュートリアル]** プロジェクトを作成します。**[新規プロジェクト]** をクリックして、プロジェクトを作成します。
4. **[チュートリアル]** 内に、**Hello World** フォルダを作成します。**[新規フォルダ]** をクリックして、フォルダを作成します。

資産アセットと概念

プロセスについて、また、プロセスをのパブリッシュおよび方法と呼び出し方法と、アプリケーション統合コンソールについて学習します。

次の資産アセット、概念、サービスを使用します。

資産アセット

プロセス

プロセスとは、ビジネスの要件を自動化する一連の命令です。プロセスのステップを使用してプロセスを設定し、タスクを並列に実行したり、複雑な XQuery を使用して情報を取得したり、条件に基づく判断などを行います。

概念

パブリッシュ

プロセスをパブリッシュすると、プロセスにアクセス可能なすべてのユーザーがプロセスを利用できるようになります。

呼び出し

プロセスを呼び出すと、プロセスが開始されます。プロセス内のステップは、1 つずつ実行されます。

サービス

アプリケーション統合コンソール

アプリケーション統合コンソールは、Informatica Intelligent Cloud Services サービスです。ここでは呼び出されたプロセスインスタンスの詳細な監視やデバッグを実行できます。

チュートリアルオブジェクト

このチュートリアルを完了すると、次のタスクを実行できるようになります。

- 固定テキストを出力として返すプロセスを作成する。
- テキストを入力として受け入れて、出力として返すプロセスを作成する。
- プロセスをパブリッシュして呼び出す。
- アプリケーション統合コンソールで、呼び出されたプロセスを表示する。

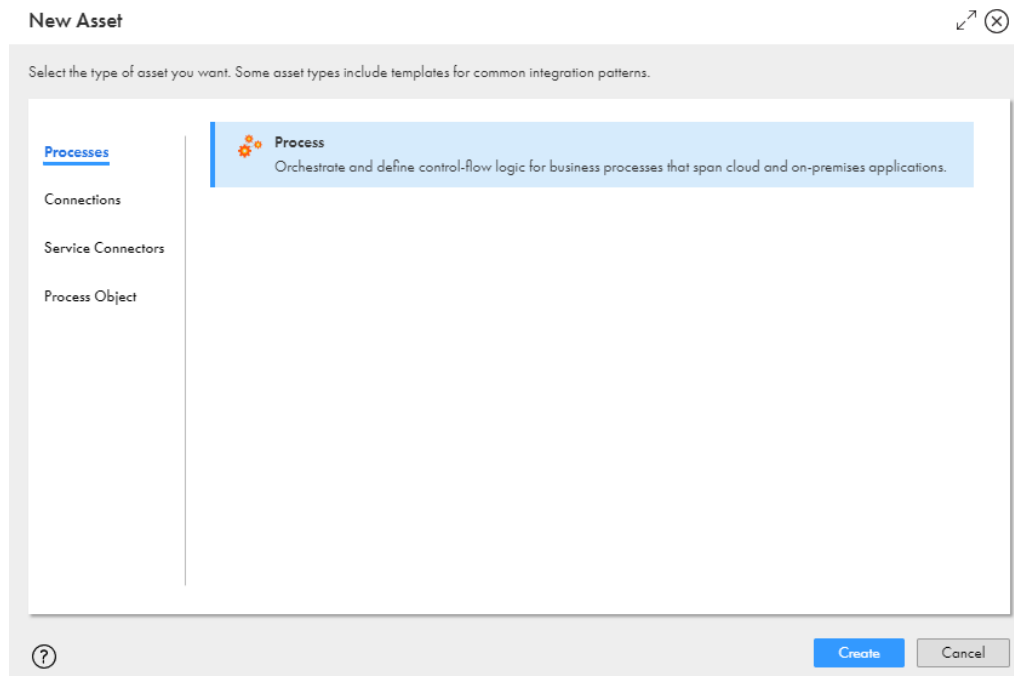
第 2 章

プロセス 1: 「Hello World」と出力する

このセクションでは、「Hello World.」という固定出力を行う単純なプロセスを作成します。

ステップ 1: プロセスを作成する

1. アプリケーションの統合で、**【新規】** をクリックします。
2. **【新しいアセット】** ダイアログボックスで、**【プロセス】** > **【プロセス】** を選択し、**【作成】** をクリックします。



プロセスのテンプレートが開きます。

ステップ 2: 基本プロセスプロパティを設定する

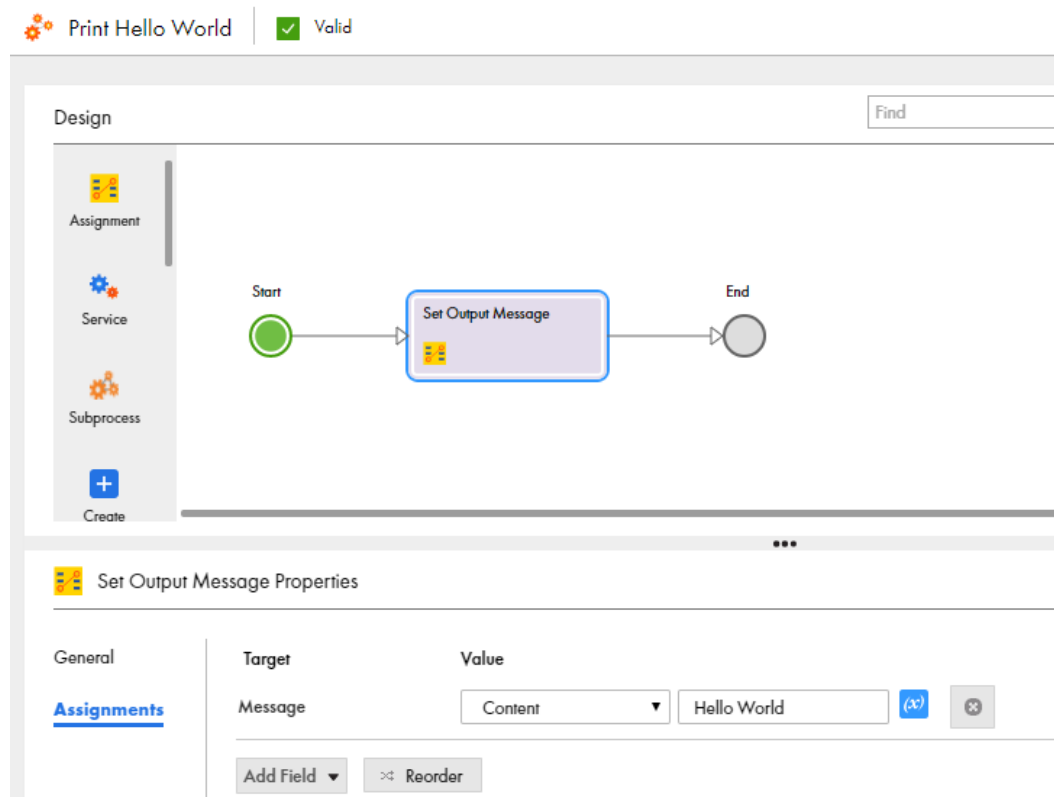
【開始】 ステップを使用して、基本プロセスプロパティを設定します。

1. 【開始】 ステップをクリックします。
プロセスのプロパティセクションが表示されます。
2. 【全般】 タブを選択し、次のプロパティを入力します。
 - a. 【名前】 フィールドに、「**Print Hello World**」と入力します。
 - b. 【場所】 の横にある【選択】 をクリックし、**Tutorials > Hello World** フォルダを参照して選択します。
 - c. 【説明】 フィールドで、「**HTTP リクエストを受信し、メッセージに静的なペイロードを設定し、応答を返す**」と入力します。
3. 【開始】 タブを選択し、次のプロパティを入力します。
 - a. 【バインディング】 リストで、**[HTTP/SOAP]** を選択します。
【バインディング】 プロパティは、プロセスを呼び出す方法を定義します。
 - b. 【匿名アクセスを許可】 を選択します。
匿名アクセスによって、すべてのユーザーがプロセスサービス URL にアクセスしてプロセスを呼び出せるようになります。
 - c. 【次の設定で実行】 リストで、**[Cloud Server]** を選択します。
プロセスは Secure Agent ではなく、Cloud Server で実行されます。
注: 【開始】 タブの【実行】、【許可されたロール】、【適用対象】 フィールドは変更しないでください。
4. 【出力フィールド】 タブを選択し、出力フィールドを追加します。【名前】 フィールドの【メッセージ】 に入力し、【タイプ】 フィールドの【テキスト】 に入力します。
【入力フィールド】、【一時フィールド】、【メッセージ】、【詳細】、【注記】 タブは変更しないでください。

ステップ 3: 出力を設定する

【割り当て】 ステップを使用して、静的な出力メッセージ「Hello World」を定義します。

1. パレットから【割り当て】 ステップをドラッグして、キャンバスの【開始】 ステップと【終了】 ステップの間に配置します。
2. 【割り当て】 ステップを選択します。
ステップのプロパティセクションが表示されます。
3. 【全般】 タブをクリックし、【名前】 フィールドに「**Set Output Message**」と入力します。
4. 【割り当て】 タブをクリックし、【メッセージ】 フィールドを追加して、値に【コンテンツ】 > 【Hello World】 と設定します。
注: 「ステップ 2: 基本プロセスプロパティを設定する」で出力フィールドとして定義したので、【メッセージ】 フィールドを選択できます。



プロセスが完成しました。これで、*[Print Hello World]* プロセスを保存、パブリッシュ、呼び出しできるようになりました。

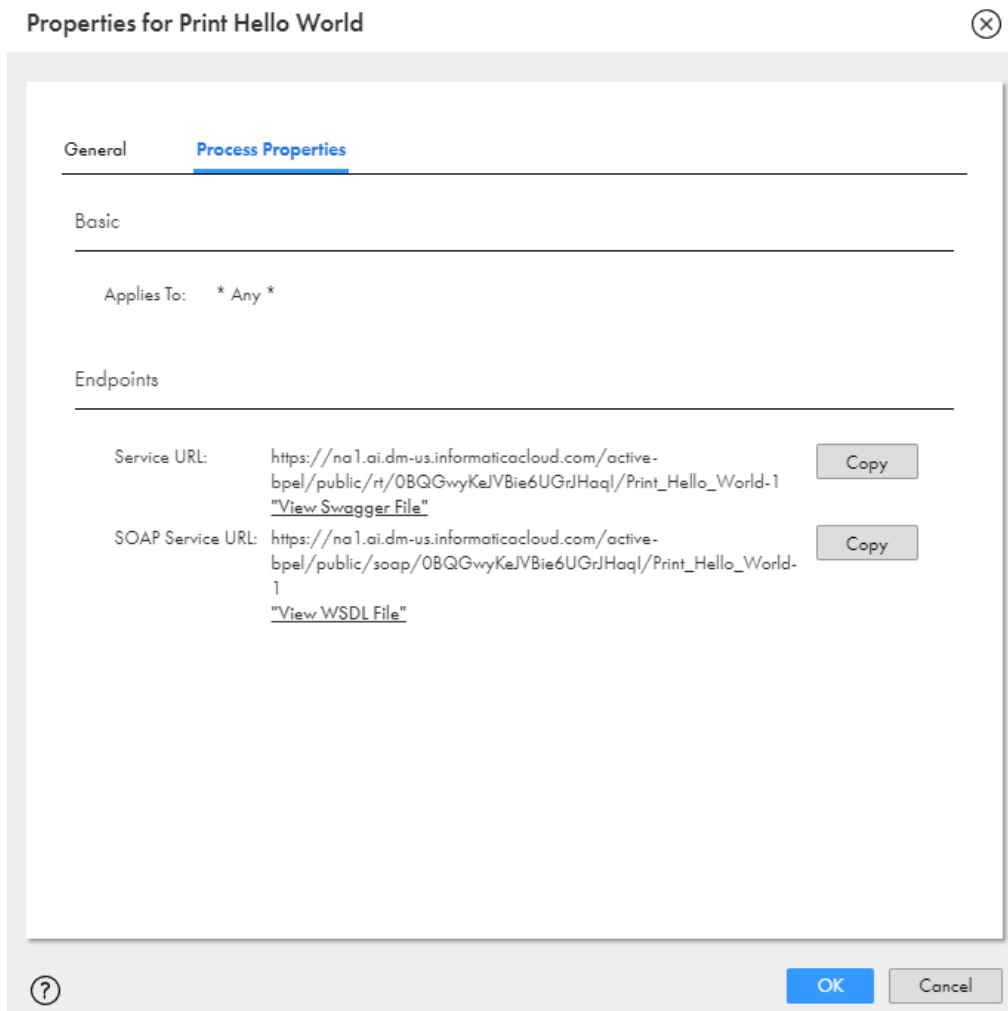
ステップ 4: プロセスを保存してパブリッシュする

1. **【検証】** をクリックします。エラーがない場合には、**【保存】** をクリックします。
エラーがある場合は修正し、プロセスを保存します。
2. **【アクション】** > **【パブリッシュ】** をクリックします。

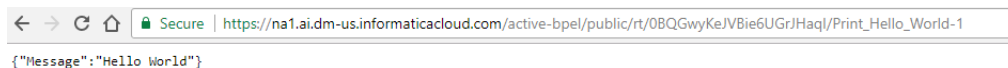
ステップ 5: プロセスを呼び出す

ブラウザにプロセスサービスの URL を貼り付けて、プロセスを呼び出します。

1. アプリケーションの統合で、プロセスの横の【アクション】 > 【プロパティ】をクリックします。
この操作は、Process Designer または【エクスプローラ】ページから実行できます。
【Print Hello World のプロパティ】ウィンドウが表示されます。



2. サービス URL をコピーします。
3. ブラウザを開いて、アドレスバーにサービス URL を貼り付けます。
次の出力が表示されます。



ステップ 6: アプリケーション統合コンソールで、呼び出されたプロセスを表示する

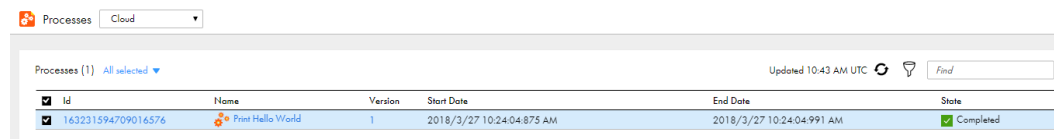
1. アプリケーションの統合ヘッダーを選択します。

【マイサービス】ウィンドウが開きます。

2. アプリケーション統合コンソールサービスを選択します。

3. アプリケーション統合コンソールの【プロセス】ページが開きます。

呼び出されたプロセスのリストに、Print Hello World プロセスが存在し、正常に呼び出されたことがわかります。



Id	Name	Version	Start Date	End Date	State
163231594709016576	Print Hello World	1	2018/3/27 10:24:04:875 AM	2018/3/27 10:24:04:991 AM	Completed

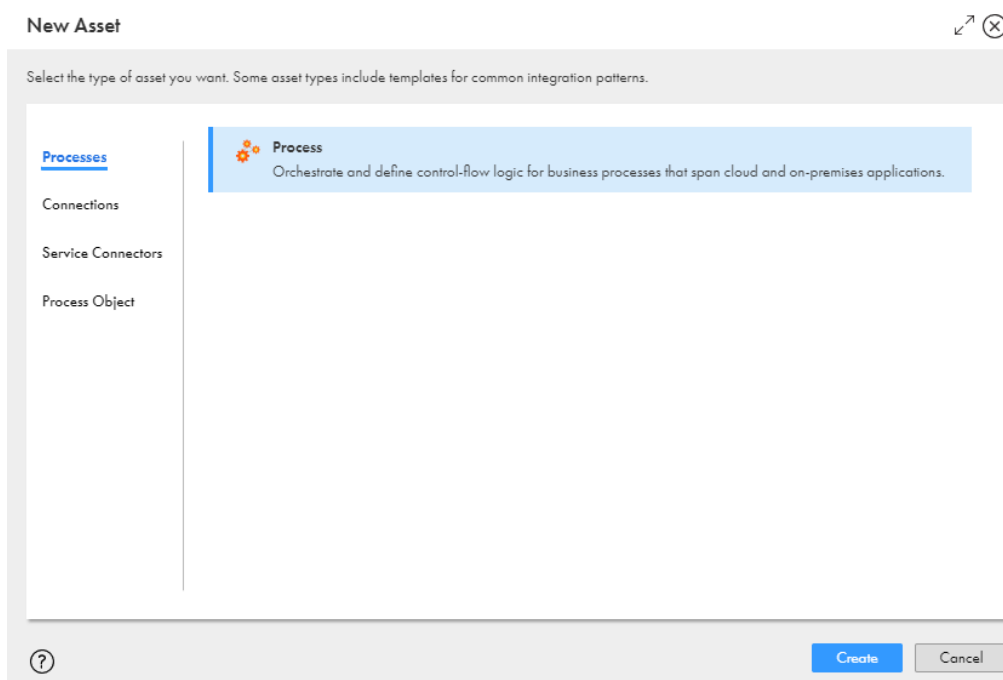
第 3 章

プロセス 2: 入力メッセージの出力

このセクションでは、プロセスの呼び出し時に入力したテキストに応じて出力を表示するプロセスを作成します。

ステップ 1: プロセスを作成する

1. アプリケーションの統合で、**【新規】** をクリックします。
2. **【新しいアセット】** ダイアログボックスで、**【プロセス】** > **【プロセス】** を選択し、**【作成】** をクリックします。



プロセスのテンプレートが開きます。

ステップ 2: 基本プロセスプロパティを設定する

【開始】 ステップを使用して、基本プロセスプロパティを設定します。

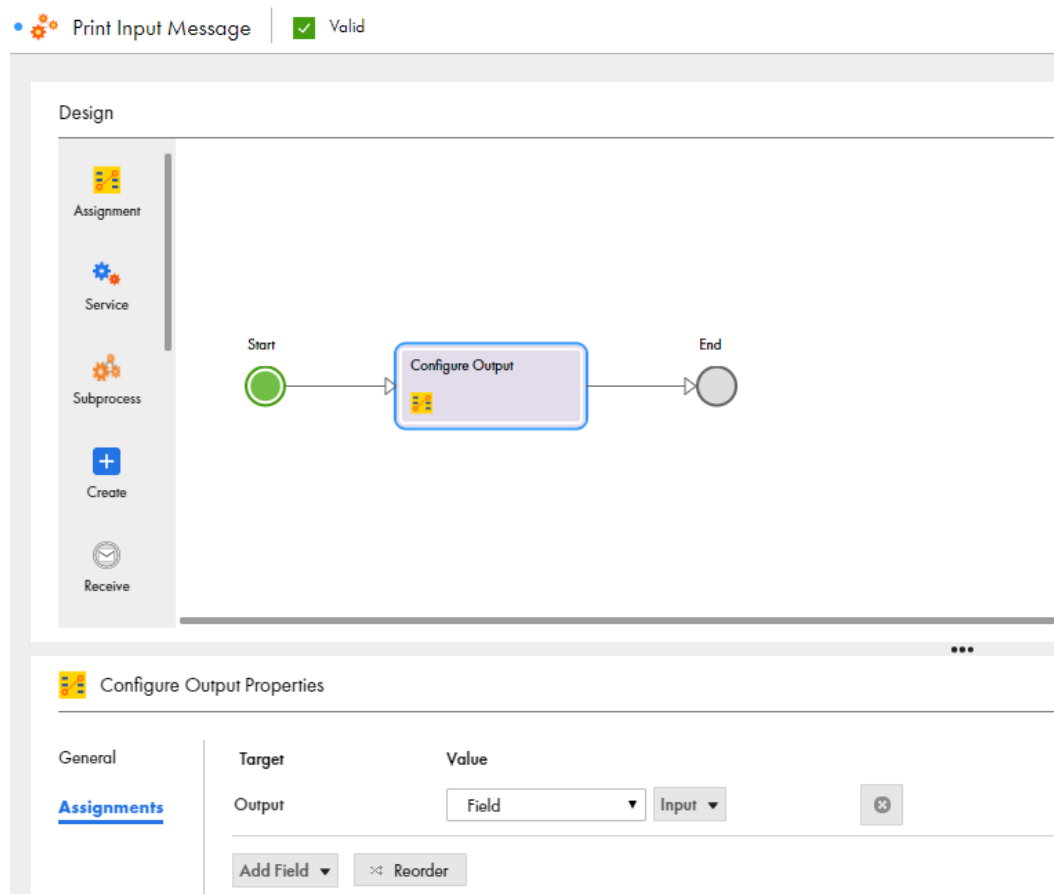
1. 【開始】 ステップをクリックします。
プロセスのプロパティセクションが表示されます。
 2. 【全般】 タブを選択し、次のプロパティを入力します。
 - a. 【名前】 フィールドに、「**Print Input Message**」と入力します。
 - b. 【場所】 の横にある【選択】 をクリックし、**Tutorials > Hello World** フォルダを参照して選択します。
 - c. 【説明】 フィールドで、「**HTTP リクエストと入力メッセージを受信し、入力メッセージをペイロードとして返す**」と入力します。
 3. 【開始】 タブを選択し、次のプロパティを入力します。
 - a. 【バインディング】 リストで、**[HTTP/SOAP]** を選択します。
【バインディング】 プロパティは、プロセスを呼び出す方法を定義します。
 - b. 【匿名アクセスを許可】 を選択します。
匿名アクセスによって、すべてのユーザーはプロセスサービス URL にアクセスしてプロセスを呼び出せるようになります。
 - c. 【次の設定で実行】 リストで、**[Cloud Server]** を選択します。
このプロセスは Secure Agent ではなく、Cloud Server で実行されます。

【開始】 タブの【許可されたロール】 または【適用対象】 フィールドは変更しないでください。
 4. 【入力フィールド】 タブを選択し、入力フィールドを追加します。【名前】 フィールドの【入力】 に入力し、【タイプ】 フィールドの【テキスト】 に入力します。
 5. 【出力フィールド】 タブを選択し、出力フィールドを追加します。【名前】 フィールドの【出力】 に入力し、【タイプ】 フィールドの【テキスト】 に入力します。
- 【一時フィールド】、【メッセージ】、【詳細】、【注記】 タブは変更しないでください。

ステップ 3: 出力を設定する

【割り当て】 ステップを使用して、作成した出力フィールドの値を定義します。

1. パレットから【割り当て】 ステップをドラッグして、キャンバスの【開始】 ステップと【終了】 ステップの間に配置します。
2. 【割り当て】 ステップを選択します。
ステップのプロパティセクションが表示されます。
3. 【全般】 タブをクリックし、【名前】 フィールドに「**Configure Output**」と入力します。
4. 【割り当て】 タブをクリックし、【出力】 フィールドを追加して、値に【フィールド】 > 【入力】 と設定します。
入力する値を設定すると、プロセスを呼び出したときにプロセスは受信した入力を取得し、それを出力として表示します。



プロセスが完成しました。これで、*[Print Input Message]* プロセスを保存、パブリッシュ、呼び出しできるようになりました。

ステップ 4: プロセスを保存してパブリッシュする

1. **【検証】** をクリックします。エラーがない場合には、**【保存】** をクリックします。
エラーがある場合は修正し、プロセスを保存します。
2. **【アクション】** > **【パブリッシュ】** をクリックします。

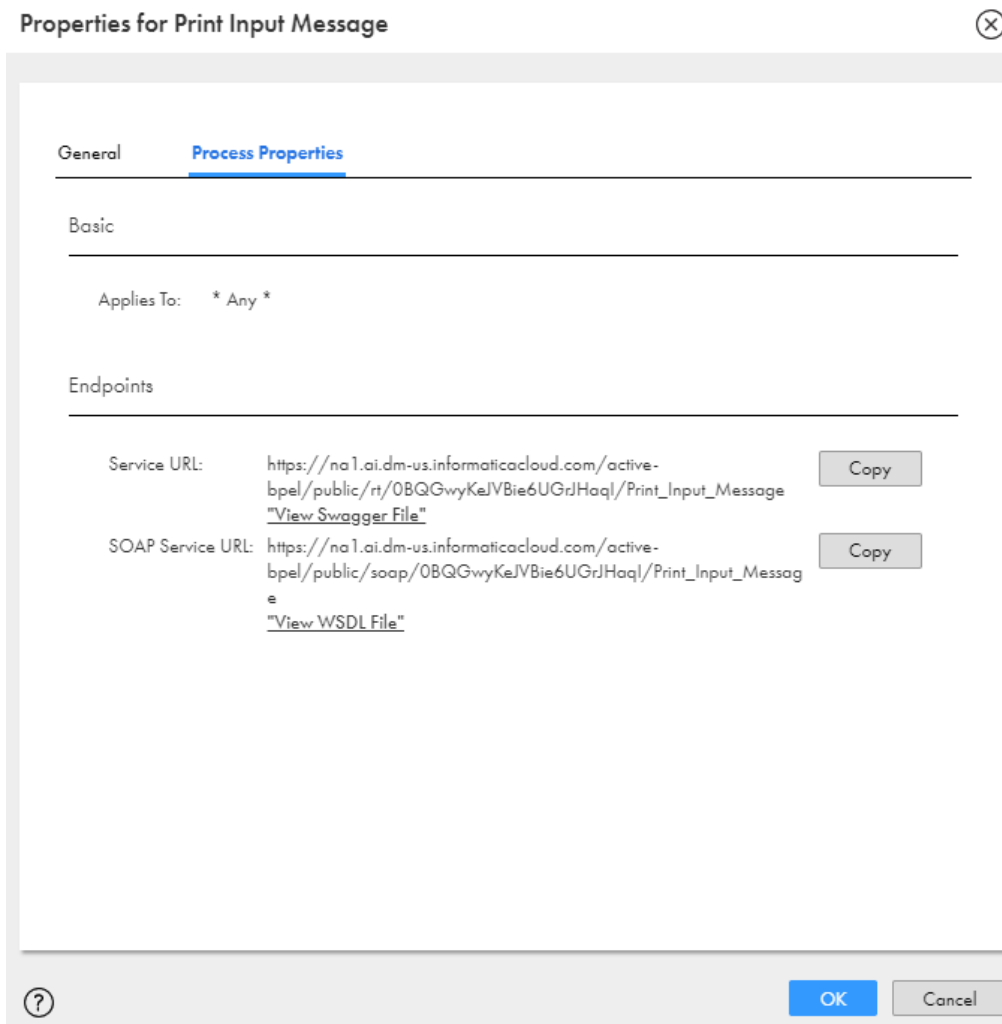
ステップ 5: プロセスを呼び出す

REST クライアントを使用して、プロセスサービス URL を呼び出します。たとえば、Postman REST クライアントを使用できます。

1. アプリケーションの統合で、プロセスの横の【アクション】 > 【プロパティ】をクリックします。

この操作は、Process Designer または【エクスプローラ】ページから実行できます。

【Print Input Message のプロパティ】ウィンドウが表示されます。

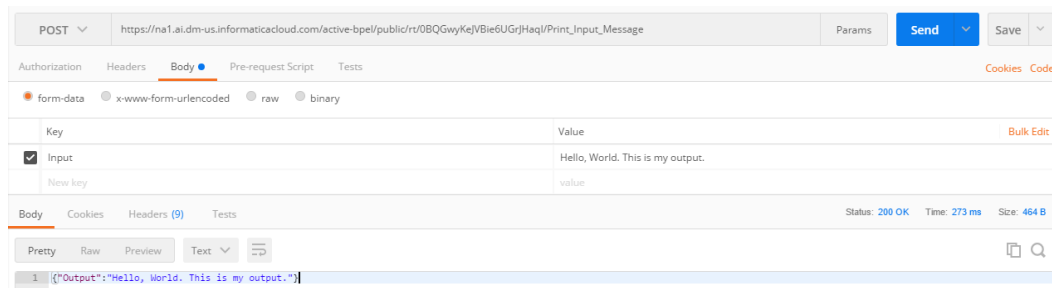


The image shows a dialog box titled "Properties for Print Input Message" with a close button (X) in the top right corner. The dialog has two tabs: "General" and "Process Properties", with "Process Properties" selected. Under the "Process Properties" tab, there are three sections: "Basic", "Endpoints", and "Service URLs". The "Basic" section contains the text "Applies To: * Any *". The "Endpoints" section is empty. The "Service URLs" section contains two entries: "Service URL:" with the value "https://na1.ai.dm-us.informaticacloud.com/active-bpel/public/rt/0BQGwyKeJVBie6UGrJHaql/Print_Input_Message" and a "Copy" button, and "SOAP Service URL:" with the value "https://na1.ai.dm-us.informaticacloud.com/active-bpel/public/soap/0BQGwyKeJVBie6UGrJHaql/Print_Input_Message" and a "Copy" button. Below each URL is a link to "View Swagger File" and "View WSDL File" respectively. At the bottom of the dialog, there is a question mark icon, an "OK" button, and a "Cancel" button.

2. サービス URL をコピーします。
3. REST クライアントを開きます。
4. 以下のプロパティを設定します。
 - a. 動詞を **POST** に変更します。
 - b. コピーしたプロセスサービス URL を URL フィールドに貼り付けます。
 - c. 認証タイプを【認証なし】に設定します。
 - d. コンテンツタイプを【Application/JSON】に設定します。
 - e. 【本文】で、キーに「Input」、値に「Hello, World.This is my output.」と入力します。

5. **【送信】** をクリックします。

次の応答が表示されます。{"Output":"Hello, World.This is my output."}



ステップ 6: アプリケーション統合コンソールで、呼び出されたプロセスを表示する

1. アプリケーションの統合ヘッダーを選択し、**【マイサービス】** ウィンドウを開きます。
2. アプリケーション統合コンソールサービスを選択します。
3. アプリケーション統合コンソールの**【プロセス】** ページが開きます。
入力メッセージの出力プロセスが正常に呼び出されたことがわかります。

